

北海道ホルスタイン農業協同組合と連携協定を締結

本学・同短期大学部と北海道ホルスタイン農業協同組合は、「包括的連携と協力に関する協定」を締結しました。

協定の実施期間は3年間で、乳牛改良に関する課題について連携し、協力関係を増進することを目的とし、北海道の酪農振興と担い手育成に協力していきます。

具体的には、本学が実施する授業や実習、北海道ホルスタイン農業協同組合が実施する研修会において講師の相互派遣を行い、乳牛改良分野において相互の技術と情報を共有し、優れた人材の育成に向けた教育・研究を推進していきます。

調印式は、2月19日（金）に本学で行われ、谷山弘行学長と北海道ホルスタイン農業協同組合北良治代表理事組合長が協定書に署名しました。

谷山弘行学長は「日本の酪農・農業は日々厳しくなっていますが、互いに協力し乳牛改良分野において連携を深め、未来の酪農・農業を担う若い人たちの育成に取り組んでいきたい」とあいさつしました。

北海道ホルスタイン農業協同組合北良治代表理事組合長は、「血統と体型に関する双方のノウハウを共有し、優れた酪農後継者さらには乳牛改良に関する人材養成をつなげていきたい」と期待を込め、あいさつしました。

第1回目のセミナー「乳牛改良プロフェッショナル講座」

協定締結後、本学園の高校生と大学・短大生を対象にした第1回目のセミナー「乳牛改良プロフェッショナル講座」が2月23日（火）に、本学中央講義棟ととわの森三愛高校機農ファームで行われ、約90名が参加しました。

<セミナープログラム>

●「乳牛における体型改良の必要性」

講師：北海道ホルスタイン農協 河原 孝吉氏

●「乳牛共進会の意義と歴史」

講師：北海道ホルスタイン農協 藤沢 義美氏

●「ホルスタインの体型審査方法」

（座学）講師：北海道ホルスタイン農協 佐藤 貢氏

●「乳牛の見方—実際に牛を見ながら—」（機農ファーム）

講師：北海道ホルスタイン農協 佐藤 貢氏

今後は、講師の相互派遣のほか、ホルスタイン協会で行っている後継者向けの研修会への本学学生の参加を予定しています。